

様式 3-2

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 707)	股関節全置換術におけるオンダンセトロンの術後悪心・嘔吐抑制効果についての検討
当院の研究 責任者(所属)	野中 崇広 (麻酔科)
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	以前股関節全置換術を受けられた方の術後疼痛について調査を行ったところ、36%の方に術後悪心嘔吐を認めました。術後の吐き気は時に痛みよりも訴えが強く患者満足度を下げる要因となります。当手術は、全身麻酔で吐き気の副作用が出やすいとされる女性患者が 80%を超えていることや、疼痛が強い手術のため医療用麻薬の使用量が多くなることが誘因と考えられます。2022 年 2 月より術後悪心・嘔吐に対してオンダンセロンという制吐薬が保険適応となり、当院でも同年 5 月より使用開始しています。今回、同手術において術後悪心・嘔吐の発生率がオンダンセロンの使用により変化したかどうかについて調査します。
調査データ 該当期間	2019 年 10 月～2024 年 11 月の期間内に股関節全置換術手術を受けた患者さんを対象とします。
研究の方法	診療録および麻酔記録より対象となる患者さんの情報を得ます
個人情報の 取扱い	利用する情報に氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は含みません。研究成果を論文投稿にて発表する場合にも、個人を特定できる情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連する開示すべき利益相反はありません
お問い合わせ先	麻酔科 野中崇広 電話 : 096-365-1711
備 考	なし